

2. 暮らしやすさ

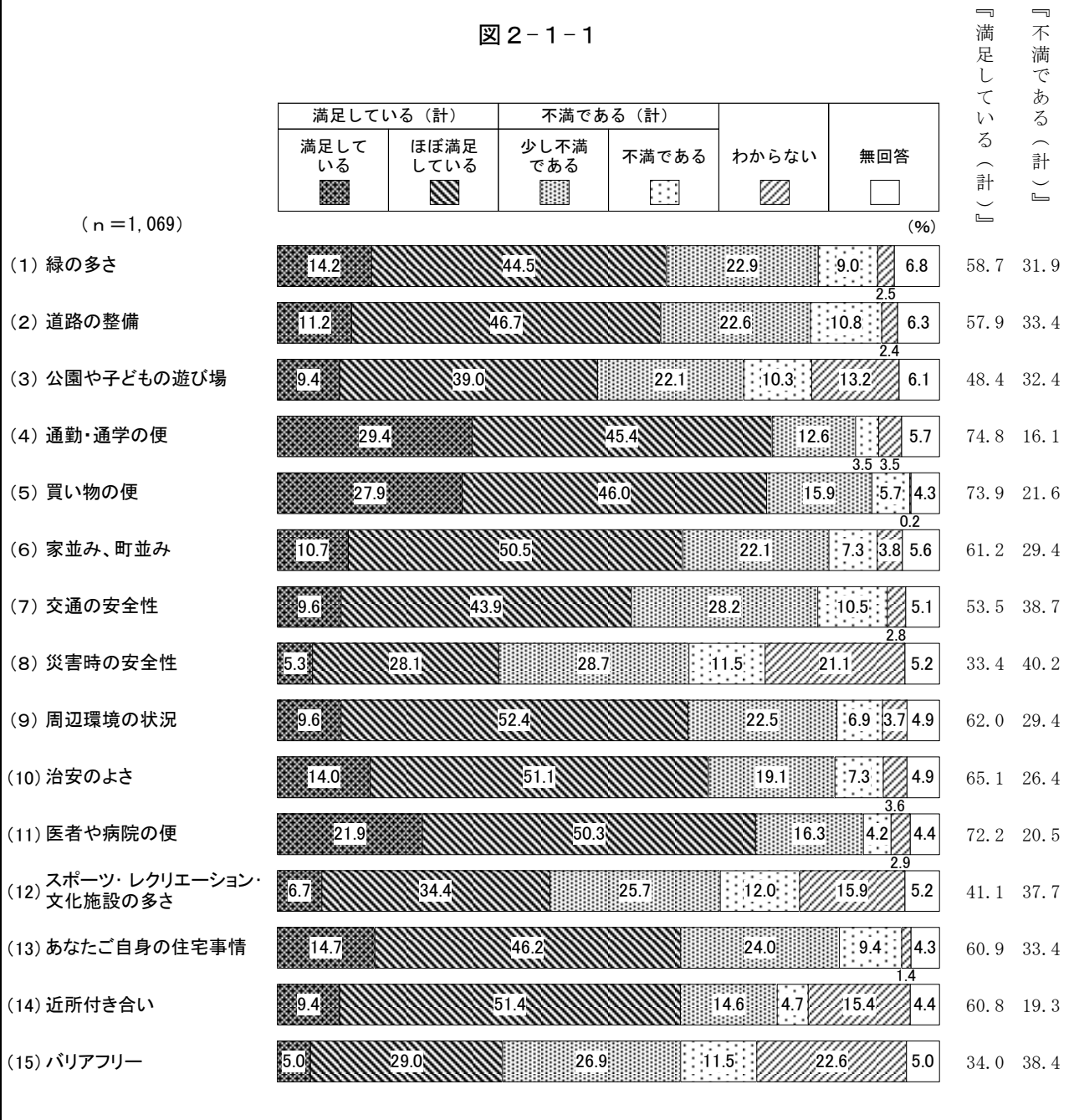
(1) 生活環境の満足度

◇「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は“通勤・通学の便”で7割半ば

問4 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つ)

図2-1-1



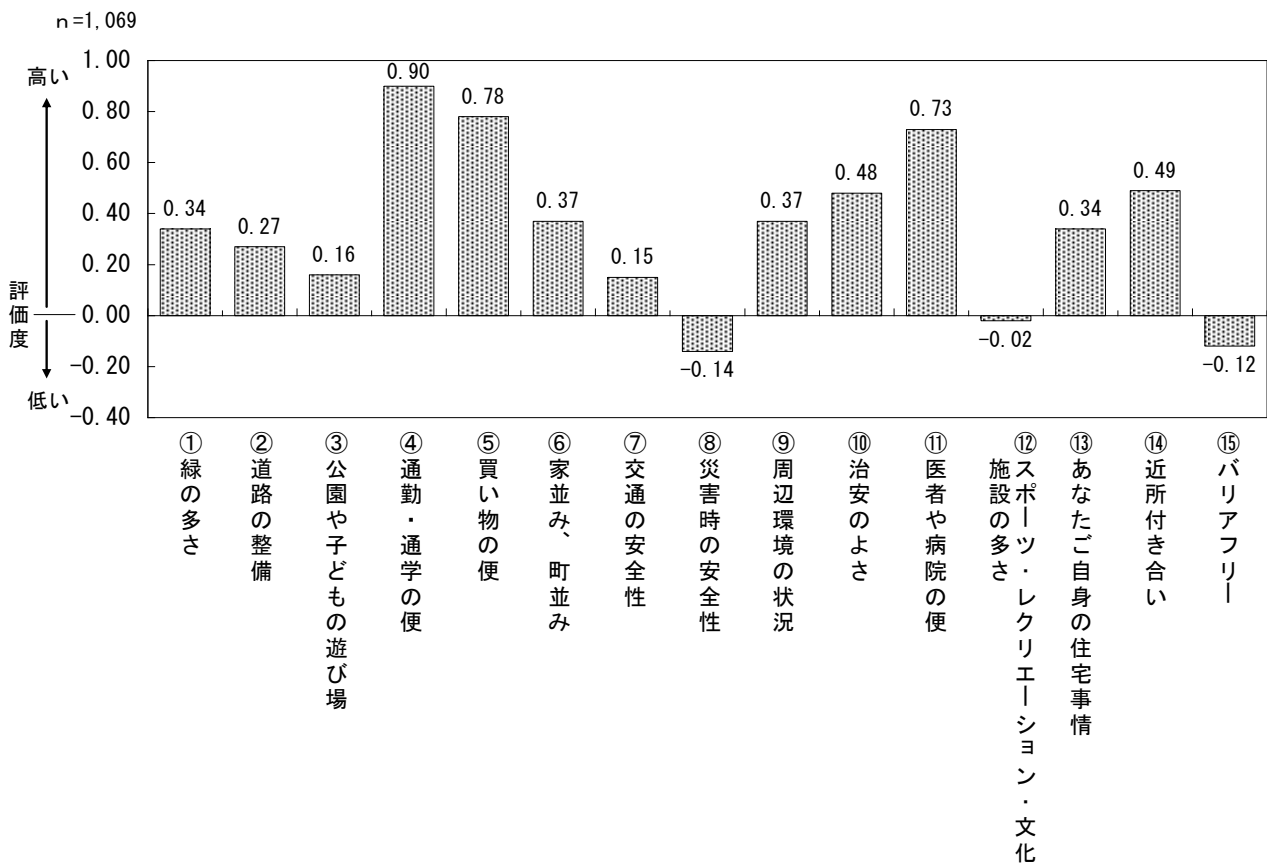
住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は“通勤・通学の便”（74.8%）で7割半ばと最も高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は“災害時の安全性”（40.2%）で4割となっている。（図2-1-1）

15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。なお、「わからない」は計算から除外した。

$$\text{評価点} = \frac{\text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

15項目の生活環境の満足度を評価点で見ると、評価が高いのは「通勤・通学の便」(0.90)、「買い物の便」(0.78)、「医者や病院の便」(0.73)の順となっている。一方、評価が低いのは「災害時の安全性」(-0.14)、「バリアフリー」(-0.12)、「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」(-0.02)の順となっている。(図2-1-2)

図2-1-2 生活環境の満足度（評価点）



以下、生活環境の満足度の評価点を地域別にみる。地域ごとに、全体と比べて評価の高いベスト3の項目と、評価の低いワースト3の項目を表に掲げた。

【大森地域】

全体と比較すると、「医者や病院の便」が 0.11 ポイント、「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」が 0.09 ポイント、「買い物の便」が 0.04 ポイント上回っている。

前回調査と比べると、今回ベスト3に入っている上位2項目は前回と同様の項目となっている。また、前回では「あなたご自身の住宅事情」が3位であったが、今回は「買い物の便」が3位となっている。一方、ワースト3では前回3位であった「交通の安全性」が1位、「周辺環境の状況」が前回に引き続き2位となっている。また、前回のワースト3にはなかった項目の「公園や子どもの遊び場」が3位となっている。(図2-1-3、表2-1-1)

図2-1-3 生活環境の満足度－【大森地域】(全体との評価点の比較)

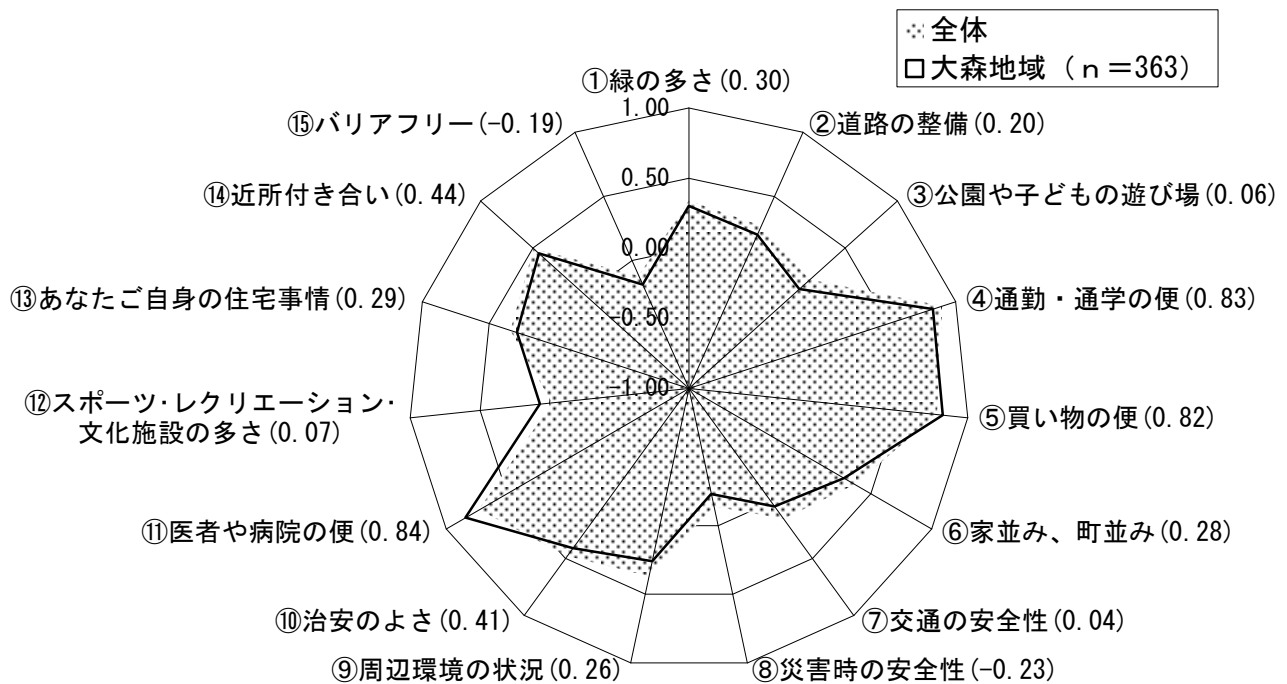


表2-1-1 生活環境の満足度－【大森地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑪ 医者や病院の便 0.11	⑫ スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ 0.09	⑤ 買い物の便 0.04
ワースト3	⑦ 交通の安全性 -0.11	⑨ 周辺環境の状況 -0.11	③ 公園や子どもの遊び場 -0.10

※同ポイントの項目は選択肢の順に記載

【調布地域】

全体と比較すると、「家並み、町並み」が 0.40 ポイント、「治安のよさ」が 0.37 ポイント、「周辺環境の状況」が 0.33 ポイント上回っている。

前回調査と比べると、ベスト3では項目は前回と同様となっており、「家並み、町並み」が前回2位から今回1位、「治安のよさ」が前回3位から今回2位、「周辺環境の状況」が前回1位から今回3位となっている。一方、ワースト3では前回2位であった「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」が1位、前回1位であった「買い物の便」が2位となっている。また、前回のワースト3にはなかった項目の「医者や病院の便」が3位となっている。(図2-1-4、表2-1-2)

図2-1-4 生活環境の満足度－【調布地域】(全体との評価点の比較)

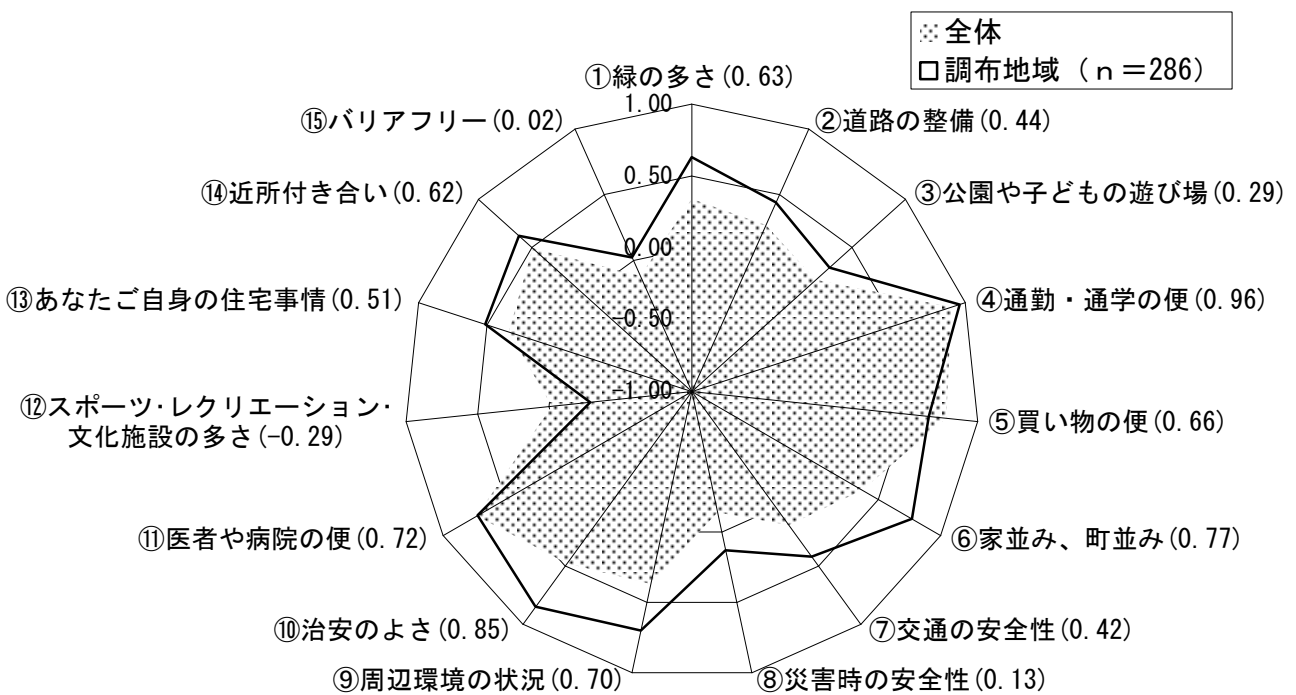


表2-1-2 生活環境の満足度－【調布地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑥家並み、町並み 0.40	⑩治安のよさ 0.37	⑨周辺環境の状況 0.33
ワースト3	⑫スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ -0.27	⑤買い物の便 -0.12	⑪医者や病院の便 -0.01

【蒲田地域】

全体と比較すると、「治安のよさ」が 0.22 ポイント、「緑の多さ」が 0.21 ポイント、「家並み、町並み」が 0.17 ポイント下回っている。

前回調査と比べると、ベスト3では前回3位であった「買い物の便」が1位、前回2位であった「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」が3位となっている。また、前回のベスト3にはなかった項目の「通勤・通学の便」が2位となっている。一方、ワースト3では項目は前回と同様となっており、「治安のよさ」が前回に引き続き1位、「緑の多さ」が前回3位から今回2位、「家並み、町並み」が前回2位から今回3位となっている。(図2-1-5、表2-1-3)

図2-1-5 生活環境の満足度－【蒲田地域】(全体との評価点の比較)

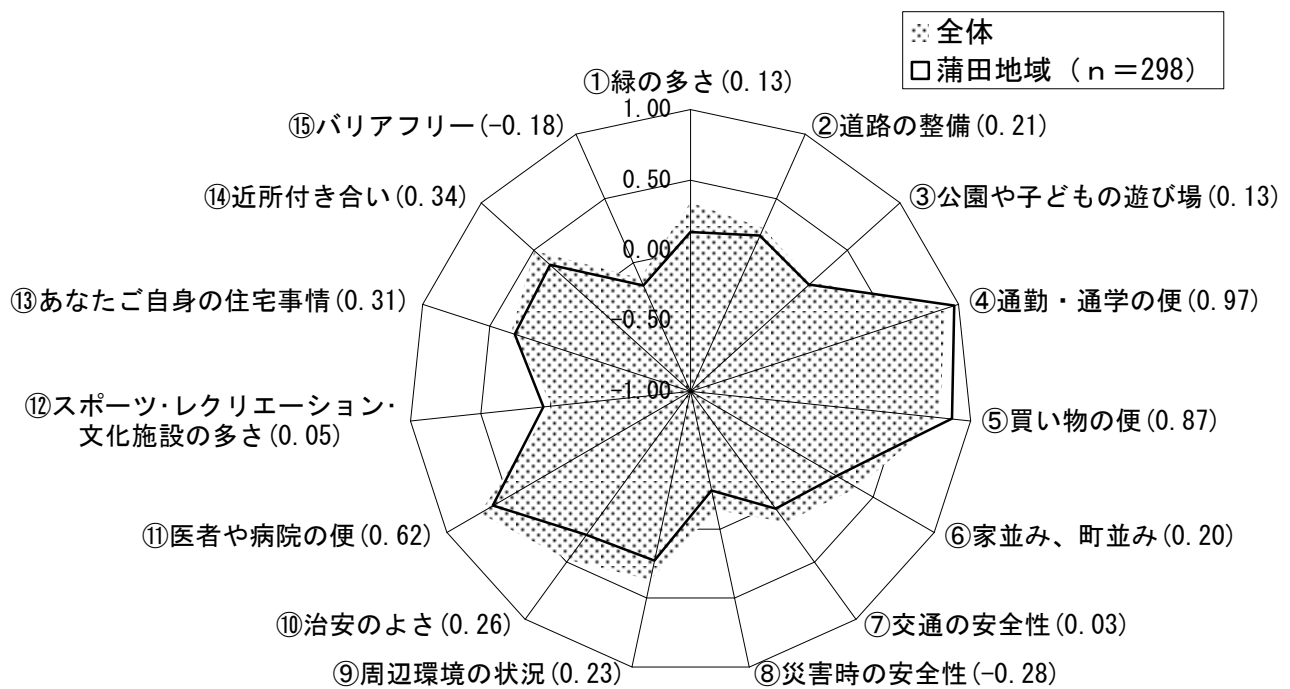


表2-1-3 生活環境の満足度－【蒲田地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑤買い物の便 0.09	④通勤・通学の便 0.07	⑫スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ 0.07
ワースト3	⑩治安のよさ -0.22	①緑の多さ -0.21	⑥家並み、町並み -0.17

※同ポイントの項目は選択肢の順に記載

【糞谷・羽田地域】

全体と比較すると、「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」が 0.20 ポイント、「近所付き合い」が 0.20 ポイント、「公園や子どもの遊び場」が 0.11 ポイント上回っている。

前回調査と比べると、ベスト3では「公園や子どもの遊び場」が前回1位から今回3位となっている。また、前回のベスト3にはなかった項目の「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」が1位、「近所付き合い」が2位となっている。一方、ワースト3では「家並み、町並み」が前回3位から今回1位となっている。また、前回のワースト3にはなかった項目の「治安のよさ」が2位、「通勤・通学の便」が3位となっている。(図2-1-6、表2-1-4)

図2-1-6 生活環境の満足度－【糞谷・羽田地域】（全体との評価点の比較）

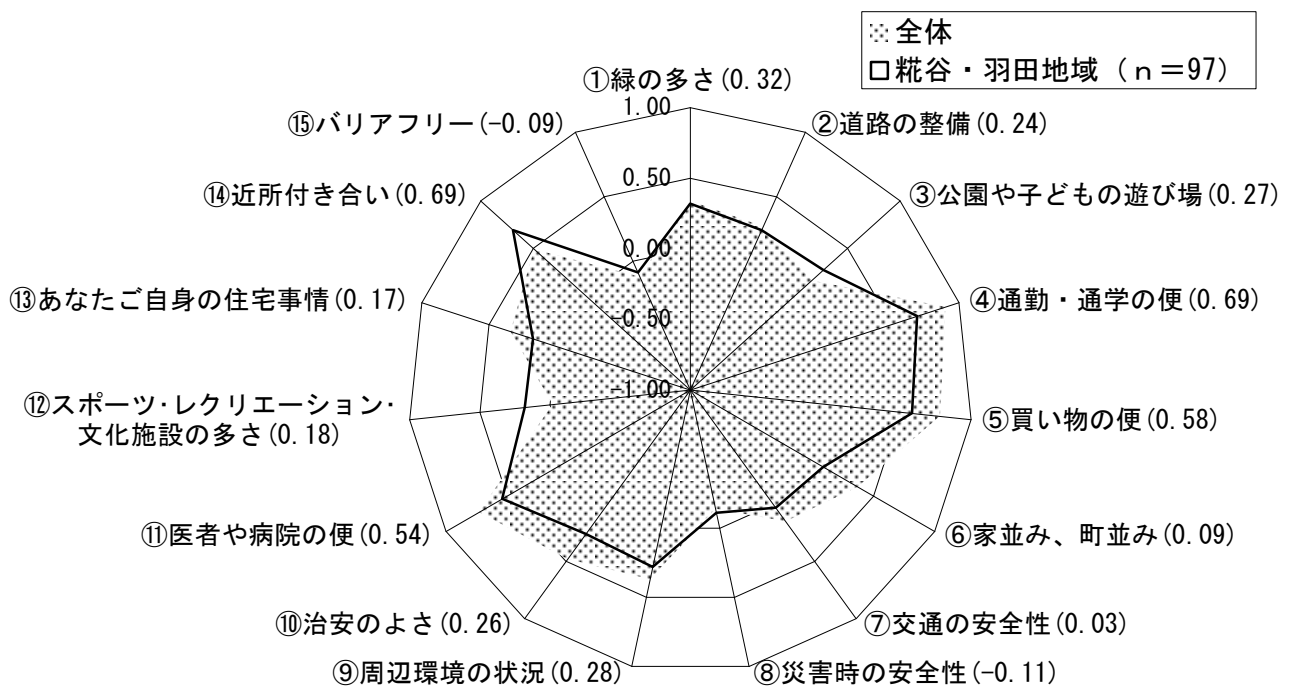


表2-1-4 生活環境の満足度－【糞谷・羽田地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

全体との差	1位	2位	3位
ベスト3	⑫スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ 0.20	⑭近所付き合い 0.20	③公園や子どもの遊び場 0.11
ワースト3	⑥家並み、町並み -0.28	⑩治安のよさ -0.22	④通勤・通学の便 -0.21

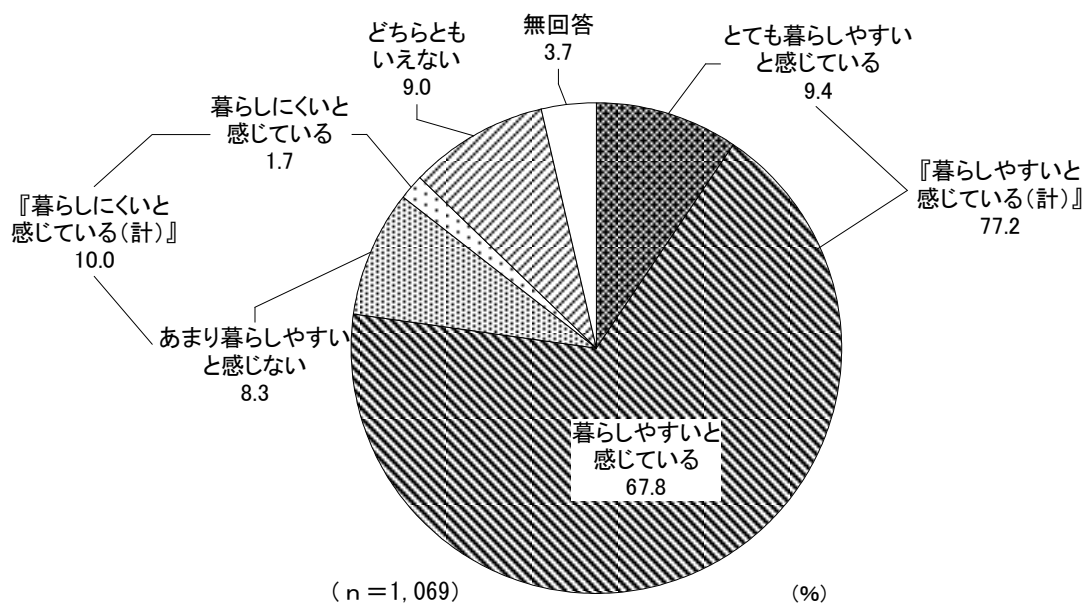
※同ポイントの項目は選択肢の順に記載

(2) 住んでいるまちの暮らしやすさ

◇「とても暮らしやすいと感じている」と「暮らしやすいと感じている」を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』は8割近く

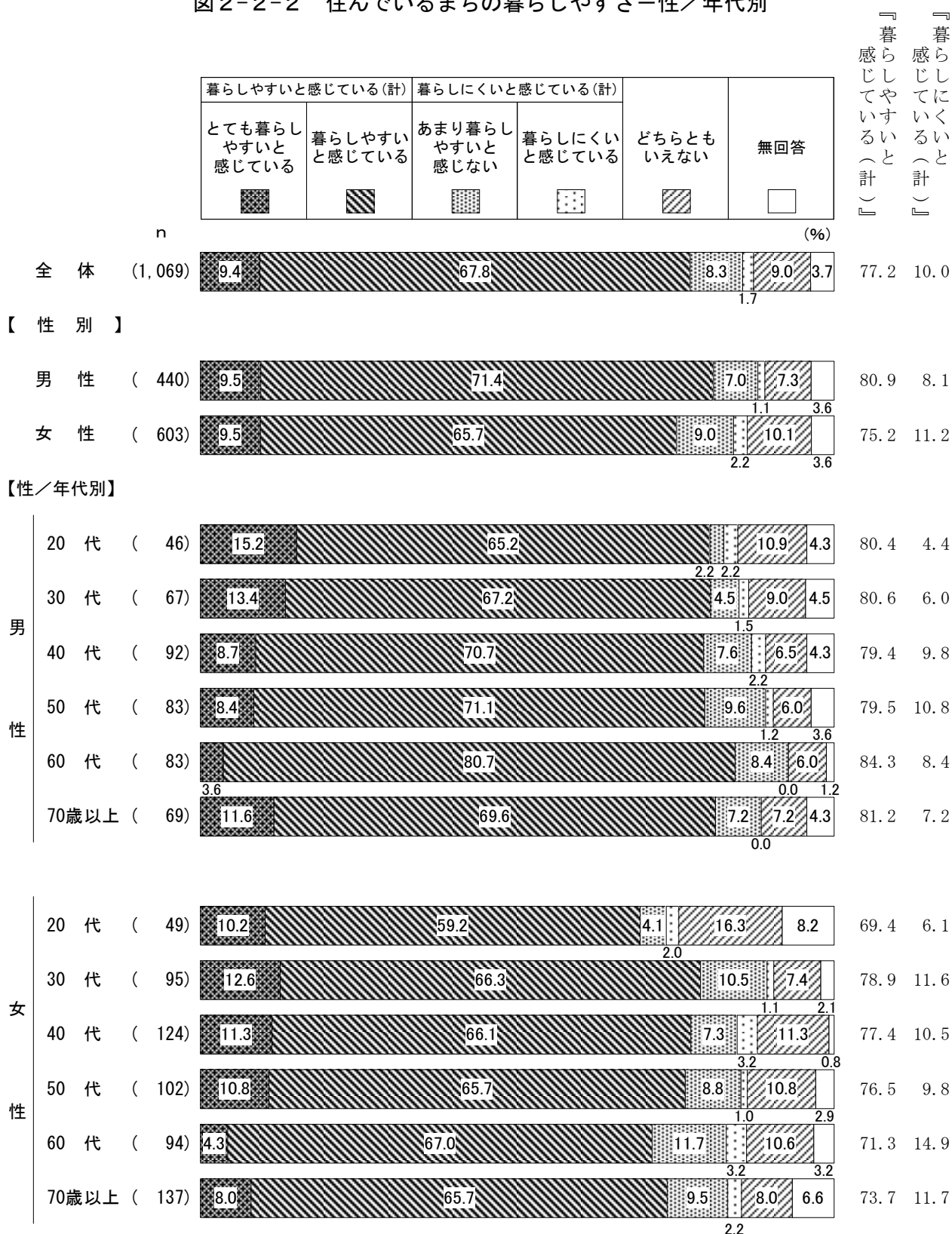
問5 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

図2-2-1



現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(67.8%)が7割近くで最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(9.4%)を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』(77.2%)は8割近くとなっている。また、「あまり暮らしやすいと感じない」(8.3%)と「暮らしにくいと感じている」(1.7%)を合わせた『暮らしにくいと感じている(計)』(10.0%)は1割となっている。(図2-2-1)

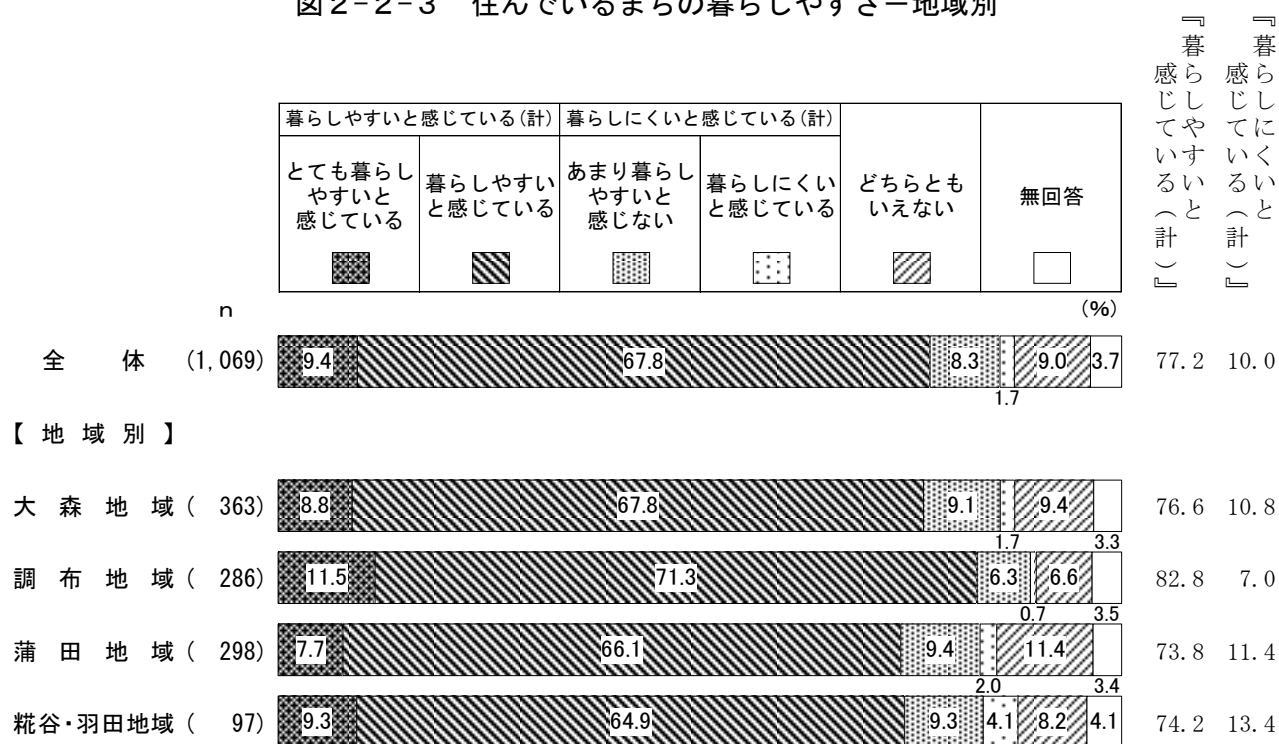
図2-2-2 住んでいるまちの暮らしやすさ—性／年代別



性別でみると、『暮らしやすいと感じている(計)』は男性(80.9%)が女性(75.2%)より5.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『暮らしやすいと感じている(計)』は男性60代(84.3%)で8割半ばと高くなっている。一方、『暮らしにくいと感じている(計)』は女性60代(14.9%)で1割半ばとなっている。(図2-2-2)

図 2-2-3 住んでいるまちの暮らしやすさ—地域別



地域別で見ると、『暮らしやすいと感じている(計)』は調布地域(82.8%)で8割を超えて高くなっている。(図 2-2-3)

《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

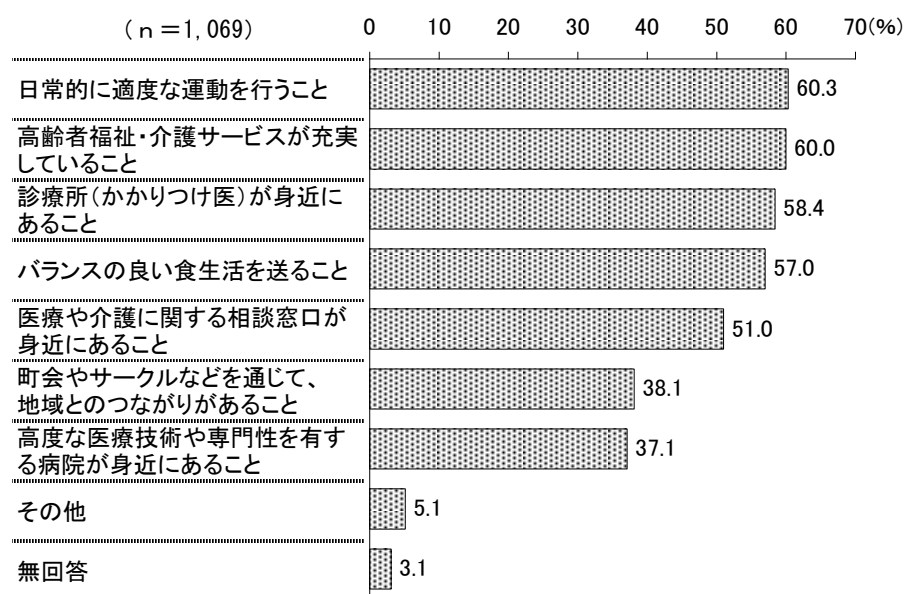
3. 健康に暮らせるまち

(1) 人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なこと

◇「日常的に適度な運動を行うこと」と「高齢者福祉・介護サービスが充実していること」が6割

問6 住み慣れた地域で、人生の最終段階まで安心して暮らしていくためには、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

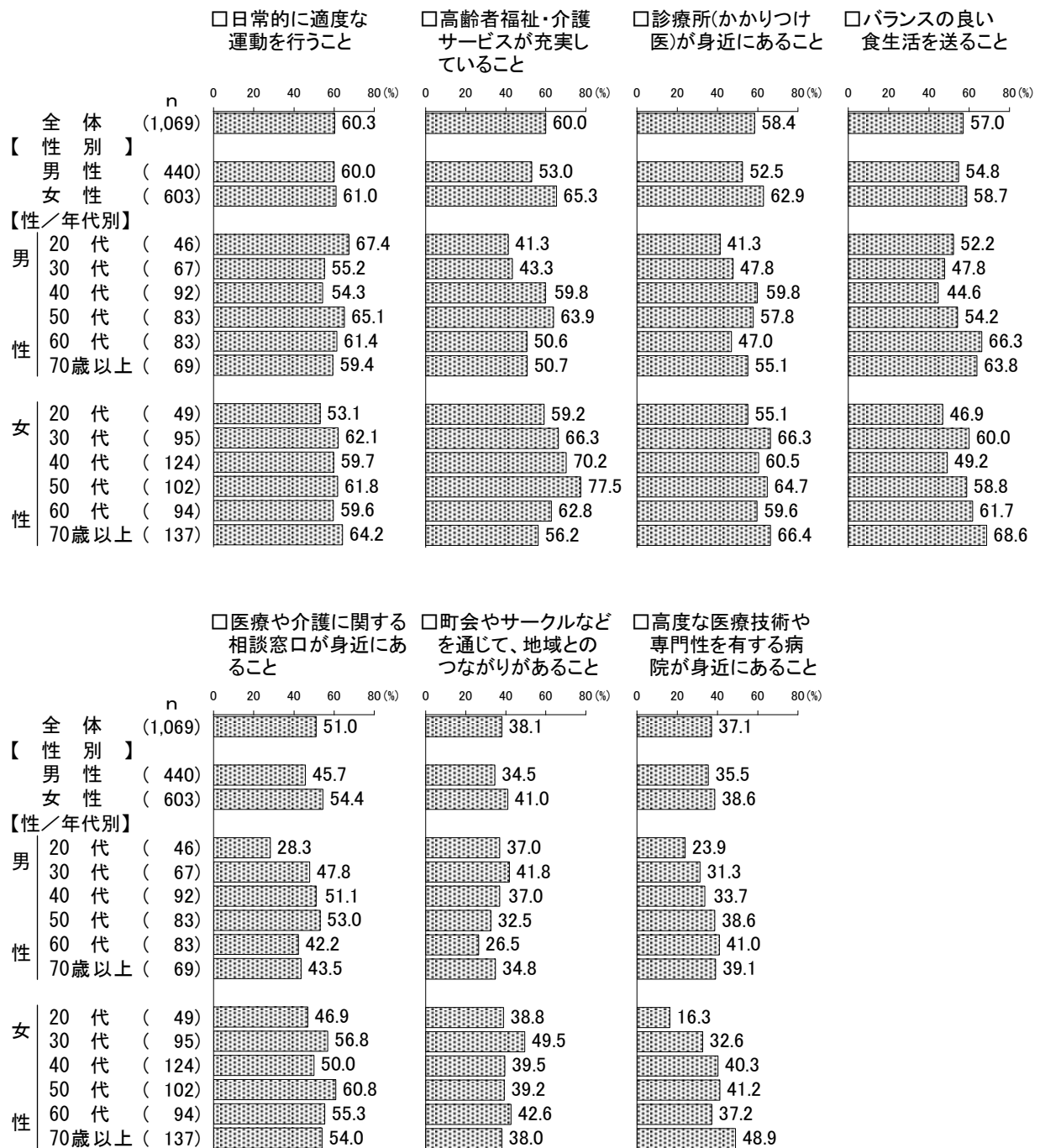
図 3-1-1



人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なことを聞いたところ、「日常的に適度な運動を行うこと」(60.3%)と「高齢者福祉・介護サービスが充実していること」(60.0%)が6割で高く、次いで「診療所(かかりつけ医)が身近にあること」(58.4%)、「バランスの良い食生活を送ること」(57.0%)、「医療や介護に関する相談窓口が身近にあること」(51.0%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「治安が良いこと」、「経済的に不安がないこと」、「交通の便が良いこと」などがあげられている。(図3-1-1)

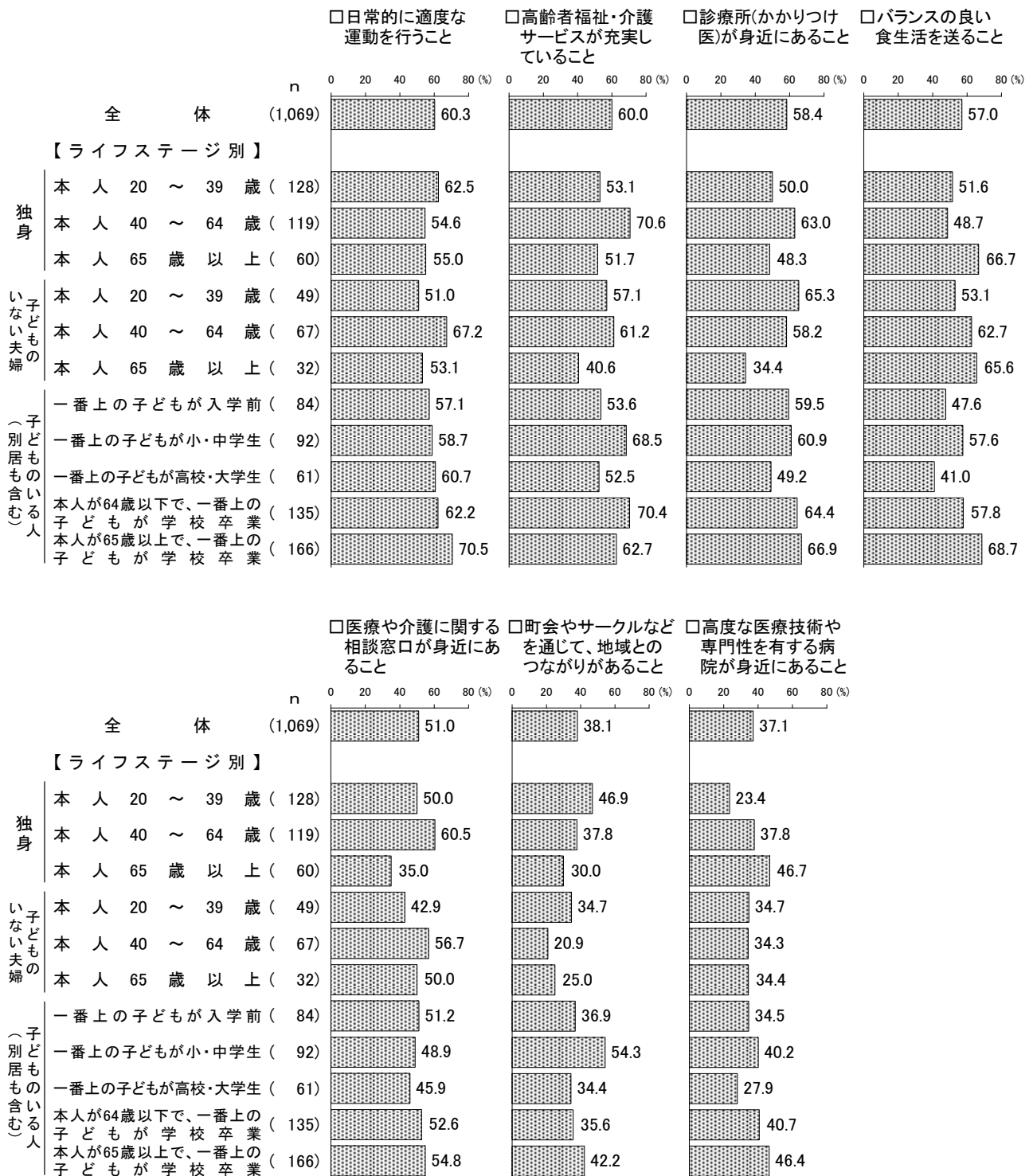
図3-1-2 人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なことー性／年代別



性別で見ると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「高齢者福祉・介護サービスが充実していること」は女性（65.3%）が男性（53.0%）より12.3ポイント高く、「診療所（かかりつけ医）が身近にあること」は女性（62.9%）が男性（52.5%）より10.4ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「日常的に適度な運動を行うこと」は男性20代（67.4%）で7割近くと高くなっている。また、「高齢者福祉・介護サービスが充実していること」は女性50代（77.5%）で8割近くと高く、「バランスの良い食生活を送ること」は女性70歳以上（68.6%）で7割近くと高くなっている。（図3-1-2）

図3-1-3 人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なことーライフステージ別



ライフステージ別でみると、「日常的に適度な運動を行うこと」は子どものいる人（別居も含む）/本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業（70.5%）で約7割と高くなっている。また、「高齢者福祉・介護サービスが充実していること」は独身/本人40～64歳（70.6%）と子どものいる人（別居も含む）/本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業（70.4%）で約7割と高くなっている。（図3-1-3）